

科目区分	専門教育科目	科目名	相談援助		科目コード	50417	担当者	島田幸一郎
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	選択	
						免許・資格要件	保育士資格必修	
科目の主題						成績評価の方法と割合		
保護者・子どもへの相談援助・支援の基礎を身につける。						定期試験 (50%) 提出物 (20%) 発表状況・受講態度 (30%)		
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標		
						誠実な人柄と人間力 (尽心)	高度な知性と創造力 (創造)	明確な意志と実践力 (実践)
1.	保育士としての相談援助の必要性を理解する。					○		
2.	自己表現と共に他者の意見やアドバイスを傾聴する姿勢や技術を身につける。					○		○
3.	他者と協力して課題に取り組む姿勢を身につける。						○	○
4.	子育て支援を進めるために、各種社会資源の理解と協働の有用性を知る。					○		○
授業方法								
コミュニケーション力や人間関係力を養うために、ロールプレイングなどを取り入れたグループ学習を中心とする。基本的な部分は、講義形式で理解を深める。								
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)								
日頃から、児童虐待など子育ての現状や課題に注目し、自分なりの考えをまとめておく。また、友人や教員等と積極的にかかわり価値観の多様性に触れておく。								
授業計画								
第1回	オリエンテーション							
第2回	現代社会と子育て支援							
第3回	保育と相談援助							
第4回	援助技術の種類と体系							
第5回	相談援助の進め方・基本原理							
第6回	相談援助者の資質・態度と技術 (自己覚知)							
第7回	相談援助者の資質・態度と技術 (他者理解)							
第8回	相談援助者の資質態度と技術 (基本的態度等)							
第9回	相談援助者の資質・態度と技術 (記録)							
第10回	相談援助の実際							
第11回	相談援助の過程 (インタークとアセスメント)							
第12回	相談援助の過程 (援助計画)							
第13回	相談援助の過程 (実施・評価)							
第14回	グループワーク演習 (児童虐待への対応)							
第15回	地域社会における子育て支援							
教科書・参考書					受講生へのメッセージ			
『演習・保育と相談援助』 監修 前田敏雄 (株) みらい					子どもの保育にあたっては、保護者との連携が不可欠であり、その前提となるのが信頼関係の構築です。相談援助の意義と価値を理解し、「聴く」「共感する」力を深めてください。その上で、子どもの小さな変化を見逃さず、保護者と共に考え適切な相談・支援を積極的に行える力を身につけてください。			